

スズメバチの巣図 (鹿島市環境衛生推進協議会スズメバチの巣駆除費補助金交付要綱資料)

オオスズメバチ



山林の土の中や木の根元に巣を作る。
見た目では巣に気づきにくいので、登山や山林業の際、巣に気づかずに近づいてしまいオオスズメバチに襲われるという被害が多い。



世界最大種で、体長 27mm～40mm程の大きさに、女王蜂は 45mm前後。
日本国内では、沖縄を除く全ての地域に生息

キイロスズメバチ



民家の軒下や倉庫の屋根下など広い場所に球状の巣を作る。
直径 50cm を超える大きな巣を作ることも多く、群れの数が 1000 匹を超えることもあり、集団で襲われる危険性が高い。



体長 18mm～27mm程度で、日本に生息するスズメバチの中では最小。
日本国内では、沖縄を除く全ての地域に生息。

コガタズメバチ



民家の軒下だけでなく、庭木の中や植え込みの中に巣を作ることが多いため人に接する機会が多い。攻撃性・威嚇性ともに低い種なので、巣に近づいただけでは気づかないこともある。庭木の手入れの際に、巣に気づかずうっかり触ってしまいますことで、一斉に攻撃を受ける事故が多い。



体長 22mm～30mm程度で中型。
日本国内では、全ての地域に生息。

モンスズメバチ



屋根裏や木の洞など閉鎖的なところに巣を作るが、大きくなると軒下など開放的なところに引越しをすることがある。



体長 21mm～30mm程度で中型。
日本国内では、沖縄を除く全ての地域に生息。

ヒメスズメバチ



屋根裏や土の中のような閉鎖的な場所に巣を作る。
営巣する巣も小さく、働き蜂の数も少ない。



体長 22mm～37mm程度で、オオスズメバチの
次に大きなスズメバチ。

日本国内では、北海道を除く全ての地域に生息。